

### Conserving Resources Used in Paper

Sony recognizes that paper resources are limited and not only makes it a point to procure environmentally preferable paper, such as recycled paper and paper made from certified forest products, but also strives to reduce the amount of office paper used at sites and limit the number of pages in its product manuals.

### Sony Group Paper / Printed Material Purchasing Policy

Sony formulated a paper and printed material purchasing policy covering the entire Sony Group to promote the environmentally preferable use of paper within the organization in order to ensure the efficient use of resources, including the conservation of forests and preservation of biodiversity.

Objectives	Sony recognizes that paper resources are limited and therefore promotes the efficient use of paper resources, the conservation of forests and the preservation of biodiversity in order to reduce its environmental footprint.
Scope	Paper and printed material used by Sony worldwide, covering office paper, packaging materials for Sony products, instruction manuals, catalogues, and printed matter for both internal and external use.
Basic Policy	Sony shall purchase paper and printed material based on the following principles: 1. Wood as raw material for paper shall be produced in compliance with the regulatory requirements of the country where the wood is logged. 2. Priority for purchase shall be given to either paper made of recycled pulp or paper produced from wood under environmentally appropriate forest management, as certified by a third-party organization. In cases in which purchasing the above is difficult, environmentally preferable paper shall be selected from the paper available in each region. 3. The bleaching of paper shall be chlorine free. 4. Printed material shall be environmentally preferable, e.g., using VOC-free ink*1. 5. Paper shall not be purchased if it is produced by companies that are accused of environmental destruction*2.
Implementation	Sony will implement the above Basic Policy through a step-by-step approach, taking into account regional differences on availabilities and markets of paper and printed material. - Sony will cooperate with stakeholders, e.g., with regard to information exchange, to achieve better paper and printed material purchasing. - Each Sony Group company or region is allowed to establish more stringent implementation rules.

\*1 VOC stands for Volatile Organic Compounds.

\*2 "Policy for the Association of Organizations with FSC" by the Forest Stewardship Council (FSC) is referred.

### Digitization of Product Manuals

The number of pages in user manuals and operating guides has increased as products become more multi-functional. Reducing page counts contributes to conservation of paper resources and also reduces CO2 emissions from printing and transportation operations. Accordingly, Sony is advancing the digitization and Web-based publication of product manuals while ensuring that their content remains easy to understand. Manuals can now be viewed easily from PCs, tablets, smartphones and other digital devices, enhancing accessibility and at the same time facilitating a significant reduction in the volume of paper used for this purpose.

### Evolution of Digital Paper

In December 2013, Sony announced the Digital Paper with a 13.3-inch display, which is equivalent to the size of an A4 sheet of paper\*1. The device uses Sony's independently-developed technology to form a thin film transistor (TFT) on a plastic substrate with high precision. By utilizing the latest 13.3-inch (1,200 x 1,600 dots) flexible electronic paper\*2 in the device's display, texts and graphics are as sharp and easy-to-read as they would be on conventional paper. Users can also use the dedicated stylus to write notes on the displayed text, thus further facilitating paper use reduction.

\*1 The 13.3-inch display is equivalent to an A4-sized sheet of paper excluding the bezel and border area.

\*2 Flexible electronic paper uses "E Ink Mobius," which was developed by E Ink Corporation.

# この時代の紙を、発明しました。

紙のように読める、書き込める。  
ソニーのデジタルペーパー。

DIGITAL  
PAPER

# DIGITAL PAPER

## 進化した“デジタルの紙”。 この一枚で仕事が変わる。

紙のような質感と、ノートのような軽さ。

小さな字まで読みやすく、ペンで書き込みができる。

ソニーがつくった新しい紙「デジタルペーパー」は、

紙の使い勝手を継承しながら、デジタルならではの機能を搭載。

大量の文書を、一枚の中に保存して、さまざまな機器とつながります。

かつて紙の発明が文化を築いたように、

いま“デジタルの紙”が、

仕事や学びのシーンに革新をもたらそうとしています。

デジタルペーパー

# DPT-RP1

オープン価格

※商品の価格は、販売店にお問い合わせください。

A4サイズ  
相当  
[13.3型ディスプレイ]



最長3週間\*  
使用

A4ノート\*より  
軽い！

約349g

\* A4ノート60枚相当

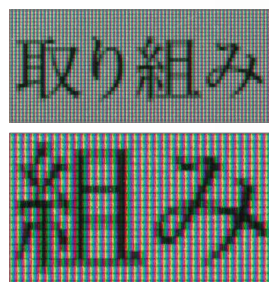


## 白い紙に黒インクで印刷したように、 はっきりと読みやすい

まるで印刷物のように文字や図をくっきり表示できる電子ペーパーを採用。液晶ディスプレイのようにバックライトがないので眼にやさしく、長時間読んでも疲れにくいことや、屋外で反射を気にせず読めるのも電子ペーパーの特長です。また、使い慣れたA4サイズのPDF文書をほぼ原寸表示でき、ストレスなく文書を読み進めることができます。拡大して読みたいポイントは簡単な操作で瞬時に拡大表示も行えます。

## 進化した高解像ディスプレイ

解像度とコントラストがさらに向上したフレキシブル電子ペーパーディスプレイを搭載。表示が見やすく、字体が美しく滑らか。小さな文字まで、はっきりと読み取れます。



液晶ディスプレイ



電子ペーパー

※ DPT-RP1はPDFファイルのみ閲覧や書き込みが可能です。Reader Storeなど、電子書籍専用のサイトでコンテンツを購入するためのアプリケーションは搭載されていません。また、Reader Storeなどで購入した電子書籍をDPT-RP1で読むことはできません。



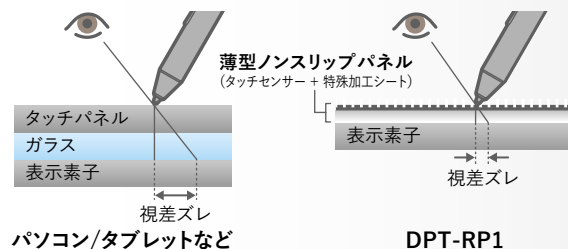
## 書きやすい

## 薄型ノンスリップパネルによる 自然な書き味

パネルとペンに適度な摩擦がなければ、ペンが滑って字が上手く書けません。そこで、独自開発の薄型ノンスリップパネルを採用。新開発したスタイラスペンの芯との組み合わせで紙のような書き味を実現しています。芯はフェルト素材(鉛筆風)と樹脂素材(ボールペン風)の2つから選べます。

## 紙にペンで書くような感覚

ペン先と描画位置のズレが少なく、ペンの動きに対する遅延も少ないため、違和感なく手書きできます。



## 新タッチパネルシステムと、 新スタイラスペンによる高精度な描画

新採用の静電容量方式タッチパネルシステムと、充電式アクティブスタイラスペンとの組み合わせにより、画面中心から端まで精度の高い描画を実現。スタイラスペンは適度な重さで、書きやすい自然な握り心地です。また、消しゴムやハイライトに切り換える2つのボタンをペンに装備。切り換える度にメニューを表示して選択する手間が省け、効率的に作業ができます。

軽い・薄い  
長時間使用

安心のセキュリティ

## A4サイズのモバイル端末として 世界最薄最軽量<sup>\*1</sup>

13.3型<sup>\*2</sup>の大画面でありながら、A4サイズの紙のノートと同等という圧倒的な薄さと軽さを実現。鞆に入れてもかさばらず、軽々と持ち歩けます。

薄さ：約5.9mm 重さ：約349g

<sup>\*1</sup> 10インチ以上のタブレット型デバイスで世界最薄最軽量  
(2017年3月現在、ソニー調べ)

<sup>\*2</sup> 13.3型は、A4サイズの紙の余白部分を除いた大きさに相当します。

## 大量の文書を常に持ち歩ける

内蔵メモリーに、約10,000ファイルのPDF文書を保管可能<sup>\*3</sup>。キャビネットや引き出しを埋め尽くしていた大量の書類を、薄くて軽いこの1枚に保存し、いつでも、どこでも持ち歩くことができます。

<sup>\*3</sup> 約1MBのPDFファイルを1ファイルとし、内蔵メモリーに保存した場合。

## フル充電で約3週間<sup>\*4</sup>使用可能

電力消費が極めて少ないことも、デジタルペーパーの特長です。画面の切り替えや手書き入力など以外は、ほとんど電力を使わないため、バッテリー切れを心配せずに使用可能。約3.5時間<sup>\*5</sup>でフル充電となり、約3週間<sup>\*4</sup>使えます。

<sup>\*4</sup> Wi-Fi機能オフ、Bluetooth®機能オフの状態で、PDFドキュメントを1日60分間、30ページを閲覧、閲覧中にペンによる書き込みを計1分間行った場合。なお、使用時以外は本体をスリープモードに入れることとします。

<sup>\*5</sup> 推奨ACアダプターAC-UUD12で充電を行った場合。

## 画面ロックとデータの暗号化で 盗み見や情報漏えいを防止

設定した時間が経過すると、画面を自動ロック。これにより勝手な操作や盗み見を防げます。また、欧米の暗号規格に準拠した方式で、本体内のデータを暗号化することで情報漏えいを防止。さらに、Digital Paper Appとペアリングされた端末間でしか文書ファイルの交換ができない仕組みのため、USBインターフェースからの不用意なデータ抜き出しを防止し、機密性の高い文書も安心して保存することができます。

## NFCによるロック解除機能

FeliCaカードやおサイフケータイをデジタルペーパーにかざすことでロック解除が可能。普段から使っているFeliCaカードや、おサイフケータイ対応のスマートフォン・携帯電話を登録すれば、より便利に手軽に活用できます。

※ おサイフケータイ対応のスマートフォン・携帯電話は、各キャリアのサイトをご確認ください。



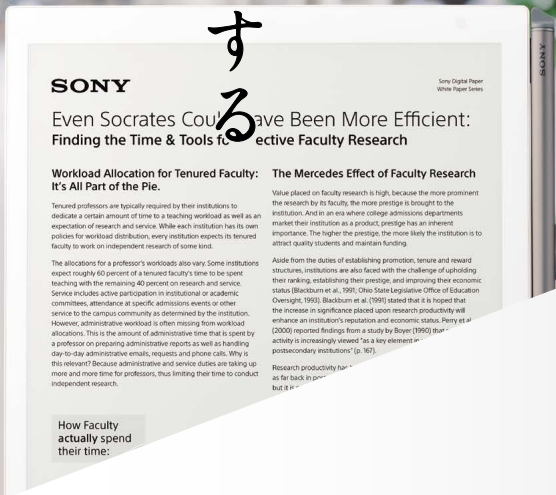
NFCとは・・・

NFCは、Near Field Communicationの略称で、10cm程度の近距離無線通信技術のこと。非接触ICカードの通信および機器間相互通信が可能で、「かざす」動作によって通信を行うことができます。

# デジタルペーパーに印刷する

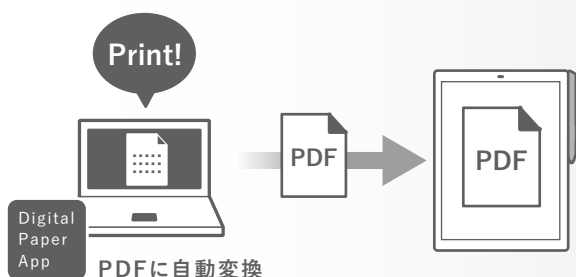


# 保管した文書を活用する



## パソコンから印刷するようにデジタルペーパーにワイヤレス出力

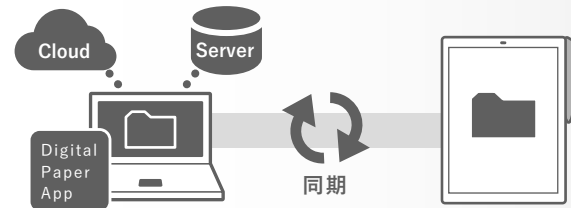
パソコンで文書を作成し、印刷メニューからデジタルペーパーに“印刷”。まさに、プリンターで紙に印刷する感覚で文書を自動でPDFに変換し、転送できます。デジタルペーパーなら、スタイラスペンで手書きできるため、校閲や添削の際、紙に印刷する必要がなくなり、ペーパーレス化に貢献します。



※ この機能はWindows10とMacOSにのみ対応しています。

## ファイルサーバーやクラウドストレージとつながる

文書ファイルを保管しているパソコン上のフォルダーを「Digital Paper App」で登録しておけば、都度、ファイルの出し入れの操作をすることなく、手軽にデジタルペーパーとの間で文書を同期させることができます。同期フォルダーは複数設定可能なので、日頃利用するファイルサーバーやクラウド上のストレージサービスなどとの連携も容易です。この機能を使えば、さまざまな機器間での文書ファイルの閲覧・共有はもちろん、文書ファイルのバックアップにも役立ちます。



※ ファイルサーバーやクラウドストレージとパソコン間の同期は、それぞれの製品やクラウドストレージサービスが提供する機能をご利用ください。

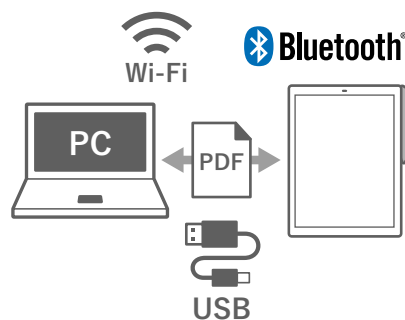
DIGITAL PAPER

## パソコンとの連携で、利便性と効率性を発揮「Digital Paper App」

パソコンに「Digital Paper App」をインストールして、デジタルペーパーとペアリング。それによりUSBケーブルやWi-Fi経由、Bluetooth®通信によるピア・ツー・ピア接続で、PDF文書の相互転送を簡単に行うことができます。また、複数のパソコンとのペアリングも可能。たとえば、デスクトップPC内の文書をデジタルペーパーに転送し、外出先で添削のうえ、モバイルPCからメール送信するなど、場所にしばられない自由なワークスタイルが実現されます。

「Digital Paper App」は、製品ホームページから無償でダウンロードいただけます。  
ダウンロードやパソコンのご利用環境についてはこちらをご覧ください。 [sony.jp/digital-paper/](https://sony.jp/digital-paper/)

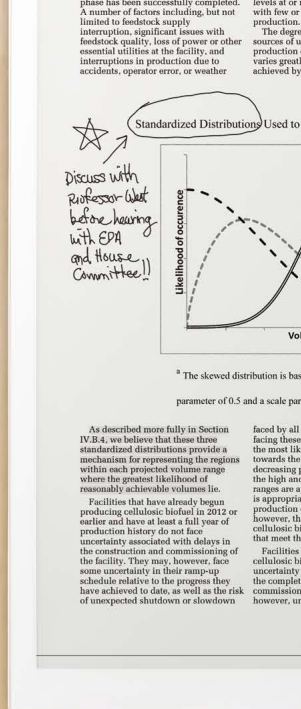
- ※ パソコンとDPT-RP1の間で文書の出し入れをするには「Digital Paper App」が必要です。
- ※ パソコンのご利用環境(セキュリティソフト/ファイアウォールなど)の設定によってはDPT-RP1と接続できない場合があります。



# 文書を並べて作業する



# アイデアをノートに残す 検索して生かす

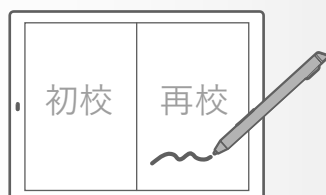


## 広い画面を活用し、 2画面で効率的に作業できる

多彩な2画面表示機能を搭載。文書を見比べる、異なるページを参照する、文書を読みながらノートに書き込む、見開きの文書を閲覧するなど、読む・書く仕事をはかどります。

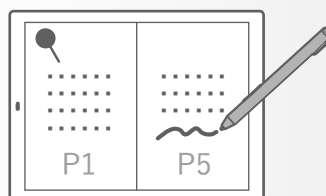
### 見比べて読む

2つの文書を並べて表示。例えば、校閲や添削した文書が正しく修正されているかのチェック作業などに役立ちます。



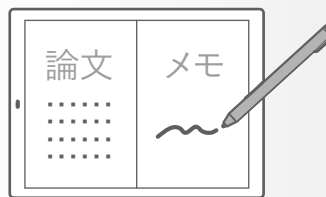
### ページをピン留めする

同じ文書の特定のページを片側に固定。例えば、あるページを参照しながら読み進めたい時などに便利です。



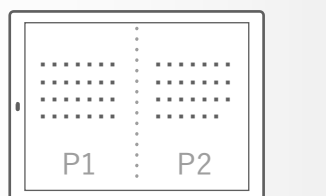
### サイドノート

文書とノートを同時に表示。文書を読みながら、手書きでノートにメモをとることができます。



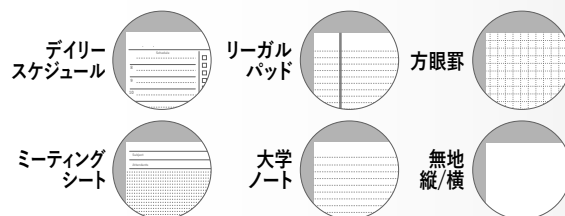
### 見開きで読む

2ページを同時に表示。見開きでレイアウトされている文書などを読む際に便利です。書き込みもできます。



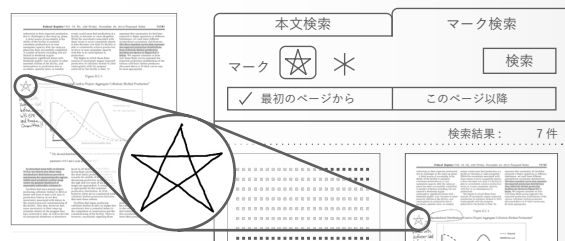
## どんどん増やせる デジタルのノートとして大活躍

大学ノート、方眼紙、スケジュール帳など、7種類をプリセット。さらに、普段仕事で使用している帳票や記入用紙などのPDFを、ノートのテンプレートとして登録することもできます。



## 「マーク」を手書きしておけば、 読みたいページを検索し、すぐに開ける

文書を読んでいて「ここが大切」「ここを後で読みたい」と思ったら、☆や\*のマークをさっと手書き。ページ数の多い文書でも、マークを付けた箇所を素早く開けます。ファイル名などのキーワードによる文書ファイルの検索機能と組み合わせれば、読みたい文書をストレスなく検索し、閲覧することができます。



手書きした「☆」によるマーク検索のイメージ

## DPT-RP1 専用アクセサリ



スタイラスペンセット  
**DPTA-RS1**  
オープン価格

- ・スタイラスペン×1 (フェルト芯1本を装着済)
- ・フェルト替え芯×1 ・POM 替え芯×2
- ・芯抜き×1



フェルト替え芯  
**DPTA-RTF1**  
オープン価格

- ・フェルト替え芯×10 ・芯抜き×1



POM 替え芯  
**DPTA-RTP1**  
オープン価格

- ・POM 替え芯×10 ・芯抜き×1



カバー  
**DPTA-RC1**  
オープン価格

- 【素材】マイクロファイバークロス 【質量】約 200g
- 【外形寸法 (幅×高さ×厚さ)】
- 約 243.6mm × 306mm × 10mm (本体装着時の厚さ)



AC アダプター  
**AC-UUD12**  
オープン価格


- ※本製品にはUSBケーブルは同梱されていません。DPT-RP1に付属されているUSBケーブルを接続してご利用ください。

※オープン価格商品の価格は、販売店にお問い合わせください。

## 仕様表

基本情報	ディスプレイ	13.3型フレキシブル電子ペーパー (解像度 1650×2200ドット) 搭載、16階調グレースケール
	タッチパネル	静電容量方式ペン入力対応タッチパネル
	プロセッサ	Marvell® IAP140 64-bit Quad-core IoT Applications Processor
	内蔵メモリー容量 / 使用可能領域	16GB / 約 11GB
	内蔵メモリーに保存可能なPDFのファイル数	約 10,000ファイル (1ファイルあたり約 1MBのPDFファイル)
	インターフェース	マイクロUSB端子
無線 LAN	サポートファイルフォーマット (拡張子)	PDF (.pdf) *1
	Digital Paper App 動作対応 OS *2 *3 *4	・Microsoft Windows 10 (32/64 bit) -Windows 10 Home/Windows 10 Pro ※ Anniversary Update にも対応 ・Microsoft Windows 8.1 (32/64 bit) -Windows 8.1/Windows 8.1 Pro ・Microsoft Windows 7 (32/64 bit) -Windows 7 Home Premium (SP1以降)/-Windows 7 Professional (SP1以降)/-Windows 7 Ultimate (SP1以降) ・macOS 10.12 (Sierra) ・OS X 10.11 (El Capitan) /10.10 (Yosemite)
	通信方式	IEEE 802.11a/b/g/n/ac MIMO
	使用周波数帯	2.4GHz帯、5GHz帯
	暗号化	WPA2-PSK (AES)、802.1x EAP (TLS/PEAP)
	接続方式	Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) / 手動
Bluetooth®	Wi-Fi 認証	対応
		Bluetooth 標準規格 Ver. 4.2
	充電電池	内蔵型リチウムイオン充電電池
	USB 充電 充電時間	約 5.5 時間
	AC アダプター 充電 充電時間	約 3.5 時間 (推奨 AC アダプター AC-UUD12)
	充電電池持続時間 (Bluetooth® 機能オフ時)	Wi-Fi 機能オフ時: 最長約 3 週間*5、Wi-Fi 機能オン時: 最長約 1 週間*6
電源関係	動作および充電推奨温度	5°C ~ 35°C
	使用周波数帯 / 対応規格	13.56MHz 帯 / FeliCa
NFC		
寸法・質量	外形寸法 (幅×高さ×奥行)	約 224mm x 302.6mm x 5.9mm
	質量 (充電電池含む)	約 349g
主な付属品		スタイラスペン、USB ケーブル (約 1.5m)、替え芯、芯抜き、ご使用になる前に (保証書一体系取説)
	充電電池	内蔵型リチウムイオン充電電池
	USB 充電 充電時間	約 3 時間
	AC アダプター 充電 充電時間	約 3 時間 (推奨 AC アダプター AC-UUD12)
	充電電池持続時間	約 1 ヶ月*7

\*1 PDF1.7 の仕様で準拠 Adobe extension level 1-8 の拡張機能が含まれる PDF はサポートしていません。 \*2 パソコンとデジタルペーパー (DPT-RP1) 間でドキュメントを出し入れする際にはパソコンに、Digital Paper App のインストールが必要です。  
\*3 対応 OS の最新情報はサポートサイトでご確認ください。 \*4 パソコンの印刷メニューからデジタルペーパーにワイヤレス出力する機能は、Windows10 と macOS / OS X にのみ対応しています。 \*5 以下の条件で使用した場合: PDF ドキュメントを 1 日 60 分間で 30 ページ閲覧し、閲覧中にペンによる書き込みを計 1 分間行う。使用時以外、本体はスリープモードに入る。(実際の充電電池持続時間は使用環境や機器の設定状態によります。) \*6 以下の条件で使用した場合: PDF ドキュメントを 1 日 120 分間で 60 ページ閲覧し、閲覧中にペンによる書き込みを計 10 分間行う。Wi-Fi によりドキュメントの出し入れを 2 回行う。閲覧用 (5MB) のファイルを入れ、閲覧後にノート (2MB) とともに取り出す。使用時以外、本体はスリープモードに入る。(実際の充電電池持続時間は使用環境や機器の設定状態によります。) \*7 以下の条件で使用した場合: PDF ドキュメントに 1 日 60 分書き込みを行う。使用時以外、本体はスリープモードに入る。

	<b>安全に関する注意</b>	<b>商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。</b>
--	-----------------	--

**デジタルペーパーを安全にご使用いただくために** ●1 年に 1 度は、接続端子などにほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください ●故障したら使わない。動作がおかしくなったり、本機が破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口にご相談ください ●万一、異常が起きたら、変な音においがしたり、煙が出たり、液漏れしたときは・・・  
①本機に接続しているものをすべてはずす ② ソニーの相談窓口へ修理を依頼する ●充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。液が本機内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください ●下記の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。火の中に入れない。分解しない。火のそばや炎下などで充電したり、放置しない。本機の USB 端子、USB ケーブルの端子のそばにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない ●下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。運転中、歩行中は使用しない。周囲の音が聞こえない危険な場所では使用しない。内部に水や異物を入れない ●下記の注意事項を守らないとけがや事故の原因となります。乳幼児の手の届かないところに置く。 ●下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。本機を布団などでおおった状態で使わない。使用中に気分が悪くなった場合は、使用を中止する。安定した場所に置く。本機の上に重いものを載せない。

本機を医療機器の近くで使わない。本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使わない。本機を心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す。本機は国内専用です  
**カタログ上の注意** ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります ●カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で、多少異なる場合があります ●画像はハメコ合成です ●SONY はソニー株式会社の商標です ●FeliCa はソニー株式会社の登録商標です。FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です ●日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) の iWnn を使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2013 All Rights Reserved. ●Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です ●Macintosh、Mac、macOS / OS X、Yosemite、El Capitan、Sierra は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です ●N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です ●おサイフケータイは、(株) NTTドコモの登録商標、または商標です ●Wi-Fi、Wi-Fi Protected Access および Wi-Fi Alliance は、Wi-Fi Alliance の登録商標です ●Marvell は Marvell International Ltd. の登録商標です ●Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします ●その他掲載されている会社名、システム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では TM、® は明記していません

ソニーウェブサイト

sony.jp/pro/

本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用

※特定市場向け商品などソニーウェブサイトに掲載していない商品もあります

ソニー株式会社

ソニービジネスソリューション株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1  
URL <http://www.sonybsc.com>

購入に関するお問い合わせ

業務用商品購入相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-580-730

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

製品に関するお問い合わせ (使い方、故障診断など)

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 050-3754-9550

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)